日刊 動労千葉

82.9.18

No. 1149

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六・（公衆）〇四七二（22）七二〇七

臨調・行革粉砕！ 三里塚ジェット闘争勝利！

ニュースの焦点

アジア再侵略の野望を 公然とさし示した 教科書検定＝改悪

日米争覇戦の激化の中で体制的危機を深める日本帝国主義は、アジア再侵略ならびに生きのびることができず、軍事大国化・改憲攻撃を強めている。とりわけ教科書の改悪は、日帝による侵略と虐殺の歴史を肯定・賛美し、子供達を再び侵略戦争の担い手にしたてようとする攻撃であり、朝鮮・中国人民、沖縄県民の激しい怒りが巻き起っている。われわれは、アジア人民のするどい告発を真正面から受けとめ、軍事大国化・改憲攻撃の重大な環＝教科書改悪を粉砕する闘いを強化しなければならない。

教科書改悪の実例

まず、日帝・文部省による教科書改悪の実例を見てみよう。

【朝鮮三・一独立運動】

旧版「日本の軍隊・警察の弾圧で朝鮮人七千人以上が殺され、多数の教会が焼かれた。」

改訂版「軍隊・警察により暴動はきびしく弾圧された」

【朝鮮人・中国人強制連行】

旧「少くとも60万人以上の朝鮮人、約5万人の中国人が強制連行された」

改「日本本土に連行され、強制労働をさせられた中国人も約4万人を数えた。」

【南京大虐殺】

旧「日本軍は……殺害、暴行、略奪、放火を行ない……中国人の犠牲者は20万人にのぼるといわれる。」

改「南京占領のさい混乱の中で、日本軍は中国軍民多数を殺害し、南京大虐殺として国際的な批難をあびた」

【侵略】

旧「日本の中国侵略（見出し）」

改「満州事変、上海事変」

旧「満州への侵略に始まった15年戦争は……」

改「こうした戦争は……」

【皇軍の住民殺害（沖縄）】

旧「……また戦争のじゃまになるなどの理由で、約八〇〇人の沖縄県民が日本軍の手で殺害された。」

改「最初は「スパイ行為をしたなどの理由で、日本軍の手で殺害された例もあった」と書き改めたが検定不許可とされたため、更に「混乱をきわめた戦場で、友軍による犠牲者も少くなかった」と書き変えて申請したが、これでも検定が通らなかったため、結局全面削除した。」

侵略戦争に動員するためのイデオロギー攻撃

このように、日帝・文部省が教科書を改悪する狙いはどこにあるのだろうか。

第一に、日帝はアジアにむけて再び侵略戦争をしかけることを公然と宣言したのであり、第二に、残虐な侵略の史実をぬりかくすことによって侵略行為を肯定し、自衛隊の侵略軍隊化軍拡と並んで、国民への侵略イデオロギーの注入を図り、侵略戦争への国家総動員体制づくりを急いでいるのである。

ついに防衛費の「GNP、一%枠」をとり払い、世界第七位の軍事力を保有するに至った日帝にとってのあい路は国民に根強い反戦・反核意識が存在する事であり、「愛国心教育」がまだ支配者の思うように出来上っていない点である。「教育と軍事は国家100年の大計」と公言し、教科書改悪・靖国神社参拝等反動のゴリ押しをし、日教組攻撃を露骨にくり拡げる政府自民党が「外交的決着で教科書問題は終った」などとゴマカシ、居直る事など断じて許してはならない。

我々は、朝鮮・中国・アジア人民の怒りの糾弾＝告発に真正面から応え、連帯し、日帝の軍事大国化ー改憲への急ピッチの攻撃を、反戦・反核、三里塚二期着工阻止、臨調＝行革攻撃粉砕闘争の全人民的爆発でうちくだいていこうではないか。10・11三里塚に決起しよう。

中学校社会科（歴史）教科書の日中戦争を中心とする記述の変化

検定年度	出版社 東京書籍	大阪書籍	日本書籍
26	――	――	大陸侵略
27	華北を侵略	――	――
28	華北を侵略	華北全域の侵略	中国への進出
29	華北を侵略	――	――
30	――	華北全域の侵略	中国に進出
31	――	――	――
32	華北を侵略	――	――
33	――	――	――
35	華北に進出	大陸へ武力進出	日本の進出
39	華北に進出	中国北部侵入	日本の進出
42	華北進出	中国北部侵入	日本の進出
45	華北へ進出	中国北部への侵入	日本の進出
48	華北へ進出	中国北部への侵入	日本の進出
51	華北へ進出	中国北部へも勢力をのばし	華北を進撃
54（使用中）	華北へ進出	中国北部へも勢力をのばし	日本の中国侵出

年をおって「侵略」の言葉と歴史事実がぬりかくされてきた。文部省の強硬な反動姿勢（検定）の前に、近年では執筆者・出版社が「自己規制」するような危険な傾向さえ生まれてきているという。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！